明治四十五年一月二十五日發行
每月一回廿五日發行

婦人新報

第百七十五號

日本基督教
婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十五號

目次

○社說（新年の覺悟） 三谷民子
○周圍の人に對する同情（續） 安井哲子
○是れ實地の問題也（續） 島田三郎君
○少年部 守屋東子
我が軍本年の標語
○文苑
偶感 安中花子
中學世界懸賞當選者論文
○料理 村瀨うめ子
○講話（遞信省にて） 矢島揖子
○內外通信
本部、若松、愛隣女塾のクリスマス
○訃音

社告

◎婦人新報定價（郵稅共）

一部（前金）	金六錢
六部（前金）	金三十五錢
十二部（前金）	金七十錢

（郵券代用一割増）

◎廣告料

一行（五號活字）	金十錢

明治四十五年一月廿四日印刷
明治四十五年一月廿五日發行
發行兼印刷人 矢島揖子
編輯人 高獄孝
發行所 東京市麴町區上二番町卅 婦人新報社
三 矢島方
編輯及事務所 麴町區上二番町卅三 矢島方

No. 175　　January. 1912

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS.

Our resolution in the New Year.
Sympathy for our neighbors. (*continued*).
This is not an ideal but a true fact. (*continued*).
Children Dept.
Our motto for this year.
Literature.
Cooking.
Adress.
W. C. T. U. News.
Head quarters, Wakamatsu, Airin-Jojiku.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
c/o Mrs. Yajima, No. 33 Kaminibanchō Kojimachi, Tokyo.
70 sen per Annum. Single Copy 6 sen.

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第百七十五號
（明治四十五年一月廿五日發行）

社告

謹みて新年を祝し上候
矯風會及び婦人新報に關する一切の件特に婦人新報代金並に御轉居の報は直接に左記迄御通信被成下度此段御願申上候也

東京市麴町區上二番町
三拾三番地婦人新報社
主任　高原かう

社説

○新年の覺悟　三谷民子

（文責在記者）

七五三繩に飾られたる街路、戸毎に飜る國旗の下に羽根つく少女等の美はしき衣服、履物に至るまで、家に就ては疊の新たなる襖障子にも注意周到にして年の改まると同時に人の心もおのづから外形に顯はれてをります。

この兩三夜初週の祈禱會に參り歸りましてから考へますれば何れへ參りてもゆかしき限り靜粛にかまへたる床の間のかざり何一つ申分なきまで洒掃行屆きたる御部屋に導かれますとさすがに年を迎ふるの用意隈なく行渡れる心地して實に愉快に感ずるのであります。

凡そ生とし生けるもの誰とて美を慕はぬものはあるまじ特に婦人は此の點に專ら心を傾注する事は普通の情態と申してよろしいでせうか、美には眞の美とまた暫時にして消え行く美とある、人の理性を應用して兩者の眞僞を識別しまことの美を發見した時即ち新年を迎へたると同じ心になるのであります。

人體の美、藝術の美、景色の美、あらゆる美を總括して其絶頂に勝れて立つのは人格の美、即ち美しい人格である、この美しい人格に支配せられて起る言語動作は恰も上より下に流るゝ水流を止めんとしてとゞめ得

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ぬと同じ樣に發揮して〳〵止まないのであります、むつかしく申せば人格美の絶頂に達したものはキリスト十字架上の美てあります之を理解いたしますまてには多大の練達と修養が要用てあります。

御話がむづかしくなりますから普通の事にかへて申しますれば手の美尤も美しい手は白魚を並べた樣な、櫻の花の樣な爪の先、つき立の御餅の樣な色の皮膚の美てありませうか。

私が見た手の内尤も美しいと感じた手の美は、私の朋友の一人は實に音樂に長けた方てピアノの前に座ると醉はされる樣な音を發することの出來る手を持て居られました、この方が一度緣付て醫家の主婦になられた、しかも齒科醫てありますから毎日〳〵幾十人の方が療治を受られるその布切の洗濯は如何繁忙しい時ても他人に洗はせた事はない下洗は必ず御自身になされる、ある方はこの奥さんが餘裕あるにも拘はらず決して避暑避寒に出られぬのを不思議に思ふて居られました、けれどもその行かれない原因をさかした時には實に美しい手に感心致しました。

もう一ッの手はある夏私が房州那古に避暑して居りますと一人の朋友が房州北條へ家族と共に來て居るのを聞き尋ねまするとその朋友即ち主婦なる人は襷がけて今しも家族の者に汁粉の御馳走をこしらへて居るなりまづ〳〵這入る樣との言に隨ひ室に入りますと傍に机とその上に原稿紙が載せてありまして、はてなと思ひ居りますと朋友が實は一つの雜誌の懸賞文章を認中てある今二三行て終りますから代つてほしいとの事に私は喜んてその美しい手の御手傳をいたしました。

美しい事はまだ〳〵知つてをりますがこの位に止め置きましてこの新年の覺悟は眞の美を認めて人々にも自分にも滿足を與へたいと思ふのであります。

○周圍の人に對する同情（續）

安井哲子孃

（文責在記者）

人の職業によりて强ち皆救世軍と同じ服裝をなすわけ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

には參りませんが救世軍の方が墮落した人を救ふ心を學びたい、日本武士の情は其人の手にすがつて來たものはどんなに墮落した者でも味方になつて其人を助けたといふことを伺ひました。

自分は完全であると思ふ人はすべてに勘辨がしにくいてすが、神の前に出てへりくだり居る人は寛大なる心を以て、惡いと云ふ人でも保護者となつて助けてやるといふのが信者としてはなすべき筈ではありますまいか、どうも斯る點に於て私共信者が實行する事が少い樣に存じます、斯樣に致せば罪を持て居る人に對しても同情が深くなりこれに依てその人の罪をくい止る事も出來ると思ひます。

倫敦の東の方に貧民窟があり、西は富だ人が多いてすがやはり罪惡が多く、私の知人の女中がある男子に欺されて姿をかくしました、この家の主婦は女中を尋ねて行きますと其處には見るも恐ろしいこはい人が番人をして居りました、そこてこの夫人はふと考へて、自分の持て居た金入を渡したなら其金を持て何處へか行くだらうと思ひ、懐中から出して其儘渡してこれを、暫時預つて下さいと申しました、それから惡人の首長に面會し話を遂げて女中をつれ歸らうとするとき前の人が先刻御預りした金入をと云つて持て來た、夫人は實に案外でありましたから只だまつて居りますと其人の申すには生れてから今の日迄人から信用された事のない私にあなたは金入を托されましたによつて私は實に嬉しく思ひ大事にあづかりたる次第なりと申したといふ事てした夫人の方は却て赤面する位で始めから信用して預けたわけてはなかつたのにとお話になりました、「信用は政略なり」といふ諺もありますが惡いと思ふ人でも之を信用するときは必ず罪惡を未然に防ぐとが出來ると思ひます。

私は是迄休課の時は轉地などして景色のよい處を見て樂しんだのですが然し又人情の切なることを見るのは一層信者として必用であると感じて居ります、完全なる神樣の前に我身を低くして比較ますとき、己が罪を感ずるならば周圍の人にも同情を持つことが深くな

ります、我子でも同じ事でせうもし親の方から息子息女の心を察して同情を持ちまするならば、親にかくれて放蕩をするとか、我儘をすることがない様になつて參ります、私の弟は遠方に居りますが私は手紙の度毎に身上の事を案じてやりますそれ故先方からも少しも私にかくさず先日も身上の事をたのんで參りました斯様にして周圍の人に同情を寄せまする事は信者として取るべき態度であると考へてをります。（完）

○是實地の問題也（續）

島田三郎君

△維新前に遊廓を打破せし三傑

既に世の中に知られて居る一二人を擧げて見まするとが一番古いのは上杉鷹山公であります。あの方は誠に

私の知り得る處に依つて維新前に三人の政治家を擧げる事が出來る、此他にも必ずあるだらうと思ひます徳を政治の上に施して其餘徳今日まで盡きないと云ふ程の偉い人でありまして世人も大變尊重し、政府も亦尊重して位を贈ると云ふ事を陛下に奏上して許可された程の賢明なる諸侯の一人であると云ふ事は異論の無い方でありますが、此人はどう云ふ事をされたかと云ひますると、當時上杉の領内にあつた遊廓を閉鎖して禁じた人であります。これから次に世の中にいろ〳〵議論をする人もありますが私は傑出した人だと信じて居ります、井伊掃部頭直弼公は栃木縣下を巡廻した時に佐野の町に遊廓があつたのを是は良民の爲めに良くないと云ふので金を與へて閉鎖した一人であります、それから維新の後までも有名な鍋島閑叟公であります、矢張りあの領内にあつた遊廓を閉鎖せしめた方であります、此三人は實地家であつて世の中の人が名を知つて居る方々でありますが領内にあつた此制度を破つたので其事は洵に結構だと今日も云はれて居ります。

鷹山公は良君で産業を勵みいろ〳〵新らしい事業を起し多くの士を指導して維新の後までも米澤の人が尊崇

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

措く能はざる所で遊廓娼妓を打破つた一人であります閑叟公も聰明てたつたと云ふ事は世の中の人の普ねく知つて居る實地家て、井伊直弼公は卓越した人てあると云ふ事は言ふまてもない事てありまして此三人が遊廓なるものを打破つて居るのてあります、併ながら是は過去の歴史に屬する事てありますが現在の制度の下に於て遊廓を打破つた人は誰てあるかと云ひますると埼玉縣知事の白根多助君て縣令てある間に地租の改良をやつた、農民の爲めに不便てあるからと云ふので總てに於て人民の割の宜い政治を施した人て唯今大宮公園に其功を錄した碑が立つて居りますがあの人は縣下の遊廓を皆んな禁じて仕舞つた人てあります、埼玉縣は中山道の道中の中て德川氏時代ては飯盛と名付けて旅人の給仕女の名儀て密娼を默許したのてありますが唯今も其遺物がある、その制度が中山道に成立つて居てそれて埼玉縣の治下には澤山ありましたが此遊廓を破つて仕舞つたのは白根多助君てあります、それてありますから其當時に於て遊廓はない、其當時熊谷縣と云ふものがあつて深谷、本庄と云ふ二所が其管轄內にあつた、それから其次は群馬縣の楫取素彥と云ふ人、此人は只今錦鷄間か何かに居つて男爵て手堅い漢學者て人民の爲めには隨分親切にやつた人てありまして、今ても楫取素彥と云へば大に人が尊敬して居る實地家てあります。熊ケ谷縣が廢せられて其一部は群馬縣の方に這入つて無くなつた、一つは埼玉縣て公娼を禁じた時には深谷本庄が群馬縣管下てあつたから娼妓が殘りて居り群馬縣て娼妓を禁じた時には深谷本庄が埼玉縣に這入つた爲めに埼玉縣內深谷本庄に娼妓が存して居るので、ある二縣に於て其他の地には公娼が無いのは白根楫取二君の力てある又和歌山縣にも殆んどなかつたのてあります、それから新宮に一箇所拵へたのてありますが其結果宜しくないと云ふので內務省て許されない、處が是が無いと良家の婦女を犯す憂ひがあると云ふのてある、何處まて野蠻の國てあるかと云ふ事に私は相愼が付きる。

▲公娼の許可は却て密娼を增加す

それで何處に日本人としての値價があるかと思ふのです、此口實を以て公娼を編立て之に誤られて內務省が許したのでありますが最近の報告に依りますると新宮の近邊は其以前には密娼は少なかつたのが公娼を許した爲に密娼が非常に殖えて來たのであります、茲に於て既に密娼を防ぐと云ふ現在の目的は破れて居るのでありますから、近時內務省は大に是に目を醒して和歌山縣下に遊廓を設けると云ふ運動があつた時和歌山縣の矯風會では是に大に反對して內務省に反對の請願を持つて來たのであります、內務省が甞て許した新宮の成績を見て居りますから和歌山縣知事は私の在職中は斷じて許す事は出來ぬと云ふ事を云つたのであります、世の風俗が同じ樣な種類の物が殖えると云ふ事は人情の自然であります、德川氏の時代のやうに密娼は直ちに牢に入れる或は遊廓の中に收容して恰も罪人の如くに封じて仕舞ふと云ふ事になりまするならは或は恐れて已むかも知れませぬが、今日では公然是をさうする事は出來ませぬから此方面の療治は宗敎、敎育其他の人の精神を養ふ方面と、社會的制裁力に依つて防ぐより外には公娼を以て密娼を防ぐと云ふ程論理に反いた事はないのでありますから和歌山縣の論理に於ても之を示す事が出來るのであります。

△衞生上より論及せる廢娼說

それから衞生の上に於て人を擧げて申しまするとあの群馬縣で屢々爭になつたのでありますが縣會に席を占めた人は贊否の中の二つの中に這入つた人が多いのでありまするから反對者は反對者として不可を述べ、贊成者は贊成者として運動をやつたのでありますが中には宜い議論も出て居る、衞生論が存娼論であると云ふのは怪しからぬと云つて、前には知らないで公娼は必要であると云つてやつた人も終に理屈が分つて來たと云ふやうな論者もあると云ふ事歷のある所でありまするが、其他に富岡に住つて居る齋藤壽雄と云ふ醫者がある、此人は甞て衆議院にも出た程で甞ては存娼論者で、病が擴まるから檢査するのが必要である、檢査が必要ならば之れ許可を與へて公に認めなければなら

ぬと云ふ論て、療治の方面から恐るべき病毒を防ぐと云ふ方面からの在娼論者てあつた、其人が愈事實を見て全く廢娼すべきものであると云ふ事を公言して屢々私に告げたばかりてはなく、此間靈南坂の街頭に於て、醫者の經驗に依つてあの檢査は何の役にも立たずして在娼の口實から云ふのてあつて人をして危險に近づかしむるものてあるから私は斷然檢査無効てあると云ふ事を云つて反對して居られた、青年會館に於ても同じ事を發表された一人てあります、世の中に於て人の心の中の機微を知る知惠があつたならば彼の檢査の無効てあると云ふ事は知る事が出來るのてあります、實地の問題としては閑叟公は疊水練の人てありましたが、楫取素彦君、白根多助君などは決して事實に携はらない、論者てあるかと云ふとさうてはない、長い間縣治をされ勸めて成績の擧つた人て白根君は大宮公園に碑を立てゝ其功を錄された程の良い縣令てありましたが、其人が既に娼妓を廢すると云ふ事を行つたのてあります、今日矢張り埼玉縣の人は此善政を受けて居る、群馬縣の人も楫取君の餘德を受けて居るのてあります。

△奴隷及娼妓の解放

それから人身賣買の上に於て打擊を加へた政治家は誰てあるかと云ふと、不幸に遭遇して氣の毒なる終りを遂げて世の中から才能を惜まれた江藤新平氏てあります、此人は人身賣買の點を根底から打碎いて遊廓の歷史の上に新歷史を開いた人てあります、御承知てもありませうが屢々私は述べて公衆に告げたのてありますが、明治五年に秘露の船が支那人を奴隷として買つて日本海を過ぎて歸る時に荒き風に逢つて橫濱に這入つた、其船の中に居る支那人が押へ付けられて呼吸も絕え〳〵になつて居つた、それて秘露まて行くのてあるまるて豚小屋の中に入れたやうて氣息も出來ない位てあつた、そこて支那人は海に飛込んてさうしてどうぞ我々の此苦を解いて貰ひたいと云ふ事を日本政府に訴へた、日本政府ては外務卿の副島君が英吉利の公使のパークス君に交渉した所が解放しても差支ない、條

條約國でないもので而も奴隷賣買の商賣をするものが條約國でない港に這入つたのは我々責任の無い事であるから却て奴隷は解放しても差支ないと云ふ事で解放して支那に歸してやつたのであります、此恩恵に感じて副島君が支那に行つた時に待遇の好かつたのも偶然でないのであります。それから奴隷を解放つてやつたが内には女の賣買をして居ると云ふのは容易ならぬと云ふ事で司法卿をして居つた江藤新平君が遊廓の中の娼妓を一時に解放して仕舞つたのであります。もと〳〵不正なる約束であるから此約束は無効であると云ふのて之を解いたのであります。

△自由廢業の起原

それからは女郎屋と云つて居つた物が貸座敷と云ふ事になつた、貸座敷と云ふのは座敷を貸すのであつて持主が隨意に座敷を貸してやつて居ると云ふので此名稱になつたのであります、昔の女郎屋と云ふものは貸座敷で座敷の持主で女の身體の持主ではない、それでありますから今日でも奴隷として見るならば契約無効で自由廢業が出來ると云ふ事になつた、即ち自由廢業と云ふ事は此處から起つたのであります。是が實地の政治家が此問題に對して正しき判斷を下した最も明白なる事實であります。

斯の如き事實がある日本は其他事實に於て昔の穢多を平民の中に入れて今日内務省では新部落の改良と云ふので改良事業を施して居るにも拘らず依然として帝都の片隅に而も人口が殖えて昔原であつた地方が良民を四方から取卷いて、ある方面に人口が伸びて行く處に依然として此人身賣買の公娼が許し、更に家屋は斯の如くすべし、道路は斯の如く取廣げべしと警察官が世話を燒いて居る、さうして醫者を更に嚴重にして病毒を防いでやつて誘導奬勵すると云ふ政治を行ふに至つては言語同斷であらうと私は思ふのであります。要するに之を碎いたと云つて直ちに淫風が絶えると我々は想像して居るのではありませぬ是は他の方面から社會で相當の考ある人は此忙がしい世の中に、日進月歩の世の中に、世界と競爭をしなければならぬ世の中に、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

智力躰力の兩立を求むる世の中に時を空しうして危險の中に身體を入れて名譽を犧牲にして足を踏入れるものが段々少なくなると云ふ事は洵に恃むべきである、今日の如く奨勵の道を開いても靑年の方々が斯の如き方面に足を容れないと云ふ程に世の中は進歩し變化して居るのであります、然るに今日變化せざるは唯此局に當る役人のみと私は言ひたいのであります、世は進み變化して居る、併ながら進まざるものは當局者なりと思ふのであります、而して之を刺戟するのには何物があかると云ひますると人格を無視する結論として婦人を無視するのが保守主義の人であります、婦人は政談の席に臨むべからずと云ふ不論理な議論をするのであります、今日婦人は公然日本の政治の中心である國會の傍聽席に婦人は臨むべからず、又他の政治の集會に臨むべからずと云ふ一方には保守の人があります、が、何ぞ圖らん、婦人の方面から斯の如き姑息なる事理を辨ぜざる役人を覺醒せしめんとして建白書を呈出すると云ふに至つたのであります、是も時があれば述べたいのでありますが時間がありませんから略しますが、先づ事實を擧げて見ると斯樣なものであります、さうして是が公に及ぼして社會はどう云ふ結論を與へるかと云ふと、品位を重んずる人は內に於て良民の實に忍ぶべからざる事實が現はれて來るのであります。結論に到着する前に訴へなければならぬと思ひます、が、近日淺草の區會議員の選擧があつた、それで淺草に一週間に一遍づゝ報告する四頁の新聞がある、それに職業が書いて名前が出て居ります、私は其書いたものを持つて居つて其事實を知つて居りますから事實を話すのでありまするが、今度の選擧に於て各種の職業を代表したものが表はれたと云つて褒めて居ります、其各種の職業と云ふ中には一等被選擧人で區會議員に現はれた中に杉浦何某と云ふのは遊廓の亭主である。此遊廓の亭主を選擧して置いて、各種の職業を代表したものが現はれて今度の選擧は顔揃であると云ふ事を書いたに至つては其新聞記者の思想が如何に毒されて居るかと云ふ事が分るのであります、代表者は區の代

表者であるが席を置く者は遊廓の亭主で杉浦何某である、矢張り政治上の代表者として之を戴くに至つては實に憐れむべき事ではないかと私は思ふのでありますそれに區會ばかりてはない、大阪から出た衆議院議員の中に遊廓の親方があつて遊廓の權利を代表して此利益を世の中に廣めて其基礎を强固にする委托を受けて選んだのは大阪の市でありまするけれども、國會議員である以上は日本全體を代表して居るのである、諸君も愼んで此我國全體の權利を委托すると云ふに至つては實に驚かざるを得ないのであります、是は私娼密娼の種類ではないが、彼の、あなたは大統領の候補者におなりになる御身分である私のやうな身分のないものを妻として公然御披露なさるのはあなたの出世の妨げになりますから私は親切の心から披露をする事は止めて貰ひたいと云ふ事を云つたカンペッタ夫人の精神を嘆賞せざるを得ないのであります、世の中の人は佛蘭西巴里の風俗と云ふ事を能く云ひますけれども、僅かに女郎屋の亭主を區會議員に選んで今度の選擧は各種の職業を代表して顔揃であると云ふに至つては其精神の穢れた事に驚かざるを得ないのであります、文明の度合の進んで居るところの都會へ遊廓の主人を出してそれで日本國民が代表者として戴いて居る、斯う云ふ事實が佛蘭西にあるかどうか是が密娼と公娼との違ひでありまして、密娼は隱れて居つて世の中の人は見逃して居る、他の方面では石油で間に合せて居る中に公娼の方では白燭位の電燈を輝かして居ると云ふ有樣であります。さうして同じく租税を拂つて醫者も辯護士も女郎屋と同じ事であると云ふので、此實地の論に反對する人は寧ろ言語同斷無識の至りであらうと私は思ふのであります、故に諸君が内地の有樣を御覽になつたならば如何に外國と比べてモーラルが低いかと云ふ事を認められるのは明白な事實であります。友人が今回の演說で述べた通りに、支那の婦人は米國に行つても此婦人は淫賣婦であると云ふ名稱を與へるものはありませぬ、けれども日本人が行くと直ちに淫賣婦だと思ふ、良家の娘でも、妻君でも亞米利加人はさう思

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ふ海を隔つて向ふに行くと日本の風俗などを認めないからレデーも娼妓も同じやうに見て居る、是は日本の婦人は金錢で買はれると云ふ誤れる感想を外人に與へたからであると云ふが寔にさうであらうと思ひます、警察官が良家の婦人でも何でも嫌疑の眼を以つて船の傍らで番をして居るさうして密行せしむると云ふやうな有様である亞米利加大陸に於ても皆な斯の如き有様に日本人がなつて居ると云ふのは何であるか、根底の輿論が微弱である、世の中の議論を指揮する見識が定まつて居らぬ、事實を調べて見ない結果斯の如き誤れる思想が跋扈して御同様に迷惑するものでありますから私は第一着手として公娼制度に打撃を與へて更に進んで密娼も之を禁じ終に無きに至らしむると云ふ斯の如き希望と理想を懷いて實地の議論として公娼の廢論に打撃を加へるのは文明に對して必要な活動であると信ずるのでありまするから諸君に訴へて此研究を國の爲に必要なる問題なり、人道の爲に怠るべからざる問題なりと云ふ事も御觀察あらん事を切に望むのてあります。(完)

少年部

○我が軍本年の標語

少年部長　守屋　東

◎善を及ぼすべし　サチロニケ前書　五章十五節

此句を本年の標語と定めました。年の終りに吾は此句を射止め得たりと自覺する樣に日々働て行きたいと存じます。

◎毎朝食前の祈

三年前より此時間を我少年禁酒軍の爲に特に神に祈る時間と定めて　少さき兵士等は皆實行して居ります、本年も此時を守る義務を吾等は有して居るのです。

謹て新年を御祝い致します。

○明治四十五年を迎へた吾等は只目出度〳〵とのみ云

ふて居る可きものではないと思います、如何にして此一年を目出度ものとして過すことが出來るかと、思へば、責任の大なるに恐れるものであります、我等が進む途は只一つよりないと存じます、善、是れ一つてありませう、少年禁酒軍の標語のまに〳〵逃て行き、年の終りに神の前に滿足なる感謝を捧げたいもので御座います、年々少年禁酒軍は其數を增し其兵士の數をもまして行きます、幼なき時に心に深く刻みつけた、酒害煙害の恐る可き事を十年後二十年後に是等の兵士は明かに知る時があるのでせう、否今既に知て居るので御座います、然しまた幾分の少年少女は此害毒を知らずに過すものがあるので御座います、何卒本年はそれらの少年少女に、我等の主義を及ぼして、吾軍の兵士の一員とせねばならぬ責任があるので御座います。

○本年の大會は東京に開かるゝ事となるので御座いませう、其大會の時にはぜひとも少年禁酒軍の大會を順序の中に入れて頂き愛姉の代員として御上京御出會なさいます時に東京に於ての軍の行動を御目にかけたいと存じ今より樂しみに致して居ります。

○優勝旗は本年は何處へまゐる事になりませう!! ぜひとも勝旗を得る御覺悟を以て今より一層御働き下さる樣願ます。

○昨夏の大會後デビス師は和蘭で開かれた萬國禁酒大會に御出席になり歸路は朝鮮に立ち寄り十二月の末に御歸京になりました、仝師が朝鮮に於ての御働きは實に醒ましいもので京城には立派な婦人矯風會が設立され平壤釜山等にもまた近々に出來る事に定まりましたといふ事で御座います、我等の少年禁酒軍も必ず近き將來に出來る事と思ひます、が是非とも本年の内に京城になりとも我軍の設立さるゝ樣祈願して止まぬもので御座います、デビス師御不在の爲に少年禁酒軍の教師會の如きものも開く事を中止して居りましたが新らしき年の始めの本月より再び開會する事に致します

○芝高輪の少年禁酒軍を熱心に今日まで　日曜學校外の時間即ち午后に於て一ケ月一回づゝ集會されて居りましたが、本年より日曜學校の時間を一度用ひて少年

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

禁酒軍を開會される事になりました、會長山田まり子姉の御熱心の致す所とは云へ、全日曜學校長初め全職員が最も深く禁酒の必要を認められて、大切なる時を配かれし事を感謝するのであります。

○未だ婦人矯風會の設立されある處に於て軍の組織なき處の多きは、我等の熱心の足らさる處とは存じますが何卒幼なきものゝ爲に少しの時と力とを配ちて、己れ自ら誓と心得て主義として主張して進てゆきつゝある、禁酒禁煙の必要を知らしむる集會を作り下さる樣切に願ふて居る次第で御座います、組織するにつきてまたは少年少女の爲に大會を催すにつきて、不肖小妹にて御用に立つ事ならば喜んで參ります、何卒御使ひ下さいます樣再ひ願て置きます。

○少年禁酒軍人の爲としてデビス師が發行されて居ります、少年新報も青年副部長の杉本鉞子姉の御熱心なる御働きによりて昨今非常に讀者も増し紙面の體裁も改良されてまゐりました、部數が多くなれば割引になり定價も至つて廉なるもので御座います故、少年禁酒軍の御設けなき支部にても御購買の上此新報を日曜學校の生徒等に御配付下される樣にならば幸と存じます御申越しになれば見本は喜んで御送り申上ます。

○本年は此欄に少年禁酒軍并少年課の御働きの記事を掲載する事に定めましたから少さき集會の御摸樣にも又は一兵士の働きても結構て御座います、御送付下さる樣希望致します。

○紙上で失禮て御座いますが新年の御祝詞を頂きました皆樣に厚く御禮申上ます。

文苑

○偶感

青年部　安中花子

老ひ果てゝ年將に逝かんとする日の午後、私は或る淋しい町を歩んだ、丁度其所へ來かゝつた一人の乞食今しも深い泥道を一心にたどつて居た。

不圖「努力」と云ふ一語が何かの暗示の樣に胸に響いた

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「努力」、今あの乞食はたしかに努力して居る、日當りの悪い霜どけ道を足袋を汚さずに越え様と今彼の胸は此一事に依つて支配されて居る、それが彼の運動の發力點だ、

折から勢よく商人が荷車を走らせて來た、彼は無事に此の年を越え、且つ來るべき將來に於てより大きく發展せんがために斯く働いて居る。

泥道を無事に通りぬけ様との乞食の努力と無事に年を越え様との商人の努力と種類に於て果してどれ程の相違があるだらうか？　彼の乞食は泥道を一生懸命に通りぬける其數秒間の精神を以て身體を働かせたる人の門前に立つ耻だけはまぬがれ得ると私は思ふ。

「天國の喜びは全き安息に在り、
　然れど地上の幸福は勞働より生ず」

米國の一詩人は斯く歌つて「勞働の福音」を傳へた、未だ此貴い福音を心に聞かぬ人が有るなら私は其人こそ世に最も哀れなる人だと信ずる。

安中花子

磯に散る白浪嬉しいさぎよし
　我が身斯くてぞ清く果てなん

人の世に悲しき事もなかりけり
　我が胸ひとつ我がものにして

物言はゝ涙もあらんをくちなしの
　花とゑまへる若き舞姫

罪の子の血しほの涙凍らせて
　ゑみと變へかし我が世を憎む

榮も無き我が身にあれど事足りぬ
　我にほゝゑむ花のありなば

誰か知る小鳥舞ひとぶ美しさ
　耕房のかごに潜める恨

舞の袖あてなる人と語りてん
　涙もあらん怒りもあらん

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

中學世界懸賞論文に當選せられし靑年諸君及文章を紹介す

壹等當選

○平和の世界

芝區高輪中學校生徒　西光義照

夫れ平和は治安なり、光明なり。永劫の世界に住して、この平和を論じ得るの我は幸福なり、然らば則ち何をか平和と謂ふ。

誰か黄塵天を卷く沙漠を行く時、暫く眼を開いて進み得ん。人生の歩み恒に天氣世態の平穩を祝はざるべからず。一堂の裡和洋の管絃を合奏す、各々其技を競ふとともに、一隊の調和を忘れず。家内和合化益して生活を營み、一郷協和して風をなし、泰平の社稷和睦の世界は道玆に明かなり。之平和の意味にして、人生須臾も離るべからざる境域なるを信ず。

「朋有り遠方より來る又樂しからずや」と示したる孔子は、印度歐米の珍話を樂みしか、今や一港に萬邦の友を合し、諸國悉く交際す、眞に悦ばしからずや。この春和花蝶の親しむ福祉を獲るに至りしは、そも何に起因するものぞ。自己の本元を省察せば、總ての男子は是我父也、一切の女人は是我母也、との聖訓の誠なるを知らん。又孤立し得ざる我等は人の和に依て、天の時地の利以上の勢力となるを解すべし。

されば縱半球の東西五帶、海洋の別は膚に黄白を分ち、言語は直ちに通ぜずと雖も、胸中に涌く血潮は等しく紅に躍るを如何せん。

玆に於て生民十五億を同朋となす、是當然の理にして、僞らざるの至情なり。故に相寄り相談じて、福利を進め、握手して人道を行く、この時自然の妙樂も書圖も柔和寛容の白日の下に活きて、禽鳥は戚々を融いて樹間に奏づる和氣新なるを覺ゆ。

若し夫疾風怒雨、兵亂戰國の代とならんか、蒼生は路頭に餓え、沃壤は荒廢し、都門は疲弊す。皇威日月章かならざれば、正義人倫の定む可くもあらず。花鳥又何の風景をかなさん。歐の暗黒時代、我が戰國時代等に於ける、人文發達障碍の痕事は、萬古に回復し能はざるもの、彼此對比して、平和の時代、安堵の世には、喜神萬般に發露して、文明の惠澤洽きを知り、未開野蠻とは平和ならざる時代場所の謂にして、我等は一步

一歩と乙の境を脱するを要するを悟る。

而して自己修身に於ても、内心の靜平緩和なる所は思慮分別あり、温情あり。之に反して爭鬪は利己短慮に依て分限を無視し、罵倒惡口臂を張り眥を裂き、遂に血を見んとする愚を演ず。喧嘩兩成敗恨みを永く衆に傳へ、殊に貪兵忿兵は、總ての同情を失ふを觀る。

この樣この心、對峙する國家團躰に於て異る事なかるべし。噫誰か我平和の殿上に坐して、平和の大莊嚴を拜見せざる。

我思はざるを得ざるは、儒學、人と成りの始中終を通じて、禮と樂とを敎へし事を、宜哉爭鬪を許さざる禮はスイフトの言の如く、「各階級に吾人の擧動を適應せしむ」もの、外に向て抗するを制して、弱者强者各々に平和の相を現ずるなり。樂は粗雜浮薄の心を沈め、美しき情操を涵養し、平和の源泉を造るものなり、箴言に曰く、爭端の起源は水を洩すに似たり。この故に爭ひの起らざる先に之を止む可しと、佛敎にも不和合を五逆罪の中に列ねて、君父を殺害するに等しと戒めたり。列聖の和合平安を說き且範を垂る、實に懇懃を極む。

辯者あり曰く、「世は生存競爭、弱肉を漁るの强者亦諍奪す。この現狀は自然なり、しかも雌雄を決するは聽て向上進歩を生じ、生存の價値を發揮す。寧ろ壯に非ずや。爲に所謂平和は破るるも、戰爭は慘なるも、鬪爭の議を廢せんや」と。然り、誤る勿れ、我未だ國際の法、世路の事をよく解せざれど、勇敢なる戰話、尙歩の建國、競爭の激甚なるを感ずるが故に、平和を要求希望し、安寧を讃むるなり。倶に與に熟慮研究せん

先づ平和ならざるべからざる理由の第一として、人類の有する生理上の平和的徵證を見よ。人とし名けらる者に他を毒するの刺なく、他を害するの牙なし。甲を有する龜と、鱗を被る蛇とは、自衛の鎧を負ひる愍む可き冷血動物なり。角を研き爪を延ばす鹿牛は、止むなくして生ずる、皮膚の變態を賴りながらも、最後には遁れ去る可き四足獸ならずや。人は武裝的自衛を解きて、慈言愛語を以て相接見群居する高等動物なり。何爲れぞ退化して瞋恚の爪牙と、貪慾の鱗甲を幕らさむ。須く靜心ある時恥ぢて之を觀る可し。

平和ならざるべからざる理由の第二として、人類發達の趨勢を思へ、部落郎黨の戰士が陣頭に石簇を放射

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

せし時代、腕力にて人を服し、其利を恣にせし時代は既に已に過去に屬す。現時益々鞏固なる大集團をなして、共同作業に依て交通往來有無平均す。分業制度は愈々精細に到り、各部署は全力を盡して人類てふ大有機體の健全を謀る。故に一己の職務を尊重すると同時に、他の恩澤を記憶し感謝す。一部の病的狀態は、全班に累を及ぼすを解せざる者は、遂に今代に伍するを容さず。

平和ならざるべからざる理由の第三として、平和は即ち文明なるを知れ。動もすれば戰爭は文明の階段的發達を促すが如き觀ありとして、人類の向上發達となせど、焉ぞ知らん、戰爭は平和時代の勢力を消耗するものにして、恰も暗黑冷却の月が、太陽の光熱に依て輝くが如し。

不生產的戰爭は、獨り平和の余光にて行ふ。これ經濟か不經濟か、文明か文盲か。

されば平和ならざるべからざる理由の第四として競爭、尙武の本義に復れ。眞の競爭の意義は積極的行動に策勵鞭韃し、相戒め相扶け、發して節に中るに在り。即ち競ふて荒田を開拓し、未開の土民を教導し、秩序整然推讓を忘れず、堂々人類の爲に貢献するのみ。

尙武の正しき見解は如何。日本武士は刀を帶びたれど、拔き放たざるを尙しとせり。拔き放たざる武士道は、平和の守護者にして、その刀は、王法の刑設くと雖も、その適用を好まざる如く、無爲にして化するを理想としたる如し。武の字は戈を止め、士字は知德圓滿を命意するもの、何の他義あらん、殺伐の意を偶せん。

孔子は武備、食粟、民信を治國平天下の三綱とし、三者の中先づ去る可きは武備なりと明言せり、世界一千萬の兵士と、五百萬噸の軍艦とは、驚く可き高價の具たらずんばあらず。

殊に平和ならざるべからざる理由の第五は、陛下の大御心を忘却すべからず。明治聖代師を出し給ふ事兩三なれど、一も自衛義軍たらざるはなく、立國の要義は平和に在りと宣らせ給ふ。招魂社幾萬の勇士の靈は、この平和の犧牲にして、何時迄もこの貴き屍を枕として安眠を貪らんや。

よもの海みな同朋とおもふ世になど
波風のたちさわぐらむ

と歎じたまふ御意を服膺して、戰爭の費用と、人材とを轉じて、交通教育衛生に投ぜらる日を努めて造るは國民の責務なり。人類の天職なり。切言す。戰爭は人

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

類の目的に非ざるを。

故に我等は世界的度量を以て、相互の胸襟を披き、自らの特色を發揮して、道の友たり德の征服者たる覺悟を持して、內に滿足し外を耕さむ。

頃日平和の宣傳者ジョルダン博士を迎へ、大に我意を强うし、多大の尊敬と歡喜と希望とを以て傾聽したりき。計らずも伊土戰爭は地中海の天地を搖したりと噂せられ、悲しき打擊なるを思はざるを得ざれども、恐らくは近く舊交に復し、さらに世界に太平和の必要を切實に敎ふる期會たる可きを希ふて止まず。凡そ平和運動の如きは、各國一齊に實行す可き德義、法律たるを信ず。しかるに塞外の征夫頻に悲歌を謡ふ。人情相違からず、生民擧つて望まば平和は直ちに來らん。ヘーグーデイをして、人類の祭日とする元空想に非ず。

志一なれば氣を動し、人定まりて天に勝つ。天は平和なり。人心平和なれば、求めずとも平和は現はる。心體便ち天體、一念の慈祥は天地を和ぐ。この一念ある勇者は敵なき將軍、俄然道を演ずる脫き修羅場なる戰場より、首を回らして、平和の神仙を成す英雄よ來れかし。

嗟此望みを曰ふ。私言ならんや。平和の世界はこれ我樂土なり。

貳等當選

○青年禁酒の要

甲府中學校生徒　林　讓

夫れ青年期は男子一生の大危機である、身は此の時に於て著しく成熟し、腕力も頓に加り、才智識見も亦俄に暢びる。學問も進み、閱歷經驗も昔日の比ではない、食慾も進み、或は一日に平氣で十數里も歩み得、且つ二夜三夜は眠らずとも疲れを覺えない。此處に於てか一度は我れと我が發展に驚き、更に我が體の健なるに驚き、既にして我が力の恃むに足るを感じ、そゞろ我が爲すあるべきを思ふ。あらゆる感情も慾望も亦、此の間に於て、大いに發達し、憤怒も羞恥も悔恨も哀傷も此の時最も激烈である。そゞろに物事に熱衷し、そゞろに架空の目的に憧憬れる。其の半は生理上の結果なると、自らは然りとも心附かず。氣鋭く意燃んである。利刃の新なるの鞘を脫し、彈丸の滿裝せられたる短銃に譬ふべきか、之を用ふるの法宜しからざらんか

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

身を誤り、又人をも損ふに至る。誠に之れ人生一代の危機である。東西古今の人間が、成敗の跡を見るに、其の端緒は大方此の期に發して居る。或は深く我が爲すあるべきを覺り、古への英雄賢哲にならはんとするもの出ると共に、又或は早くも誇り驕る心を生じ、親を侮り人を侮り、家をも忘れんとするものも出づる。青年期は智徳を磨き、身體を練り、大いに他日雄飛すべき基礎をつくるべき時である。苟くも飲酒喫煙に淫すべきものではない。然るを現今の青年の多數の飯酒して憚らざるは何ぞや。飲酒の害甚しきを、今日の青年知らず知らずに此の惡習に陥らんとする質に嘆ずべきことではないか。何故にかく多數の青年の飲酒の弊に陥るのであらうか、茲に大なる原因があらねばならん。然らば原因とは何か。第一に青年の酒の如何に恐るべき害あるかを知らざること、第二には周圍の境遇が吾人青年に飲酒の惡習を傳染せしむるに易きこと。以上の大なる二つの原因がある。のである。酒は百藥の長である。朝夕少し宛を用ふれば尋ひをいたし、疲れを忘れしむるものである等の言葉に欺かれ、周圍の境遇の勸むるがまゝに、知らず知らず杯一杯と重ねて、遂に取りかへしの附かざるに至るのである。吾人の知れる如く、酒はその益に關せず、有害無効たることは、大家の説によつて明らかである。殊に最近の種々なる方面の研究の結果一點の疑を挿む餘地もないのである酒は如何なる人、又如何なる時と雖も、生活需要品として認むべからざるものである。即ち酒の一般の害を並べて見れば、第一に酒は實に生活體の、凡ての器官を侵すのである。胃病は主として酒の直接刺激に由り、又一度體内に吸集せし酒の最も著しき影響を受くるは神經系である。即ち酒に醉ひたると云ふのは、腦に酒精の働いたのである。酒害に就いて諸學者の研究の結果、神經病、精神病の原因の過半は、酒の罪である。飲酒は直接に神經に害毒を及ぼし、間接には身體の諸部を虚弱ならしめ、遂には生命をも短縮するに至るのである。彼の肺病、心臟病、腦溢血等重且つ大なる病に陥らしむる。恐るべきは酒の害なる哉。

第二には遺傳である。小兒の癲癇病は多くは飲酒の癖ある親の遺傳によるのだ。恐るべきは酒害ではないか。只々飲酒家をして、肺病の如き病に罹らしむるのみならず、其の害を子孫にまで及ぼすのである。以上は一般大人の害である。凡て大人のかくの如く害あるを、況んや青年に於てをや。吾人青年かくの如き恐ろ

しき害を知りては、斷然飲酒をやむべきである。

世間には毎日大量なる酒を用ひて、精神も狂はず。身體にも害のなく、七八十歳以上に長命する人もある。之れ誠に一般の人をして酒害の疑ひを起さしむる所以のものである。然しそれは全くの例外である。見よ世間の大多數が、其の害を蒙つて居るではないか。幾百人中一人や二人の害されざる人あるとも、酒は善きものとは斷然云へないのである。

世間には、疲勞したるときに酒を用ひれば、元氣を回復し、寒き時には身體が暖かになると云ふ如き効あれば、少量の酒を用ふるも敢て差支へないと説く人があるが、然しそれは正反對である。酒を用ふる時疲れの治まると云ふのは、實に疲れの感じの鈍るのみで、酒を用ひて元氣に働けるのは、十五分か廿五分に過ぎない。それより後は却て力が減じて來るのである。酒を用ひて温かくなると云ふのも、矢張それと同じく、感が鈍るのみて、却て低温になるとのことである。

以上の如く酒は非常に恐るべきものである。然れども今日の如く飲酒の盛に行はれて居る時に於て、禁酒を斷行せんことは多數の青年に對して頗る困難なことであらう。青年の會合するや、酒を用ひざれば親睦の目的を達せざるが如く考へて居る。これが爲めに性來酒を飲まぬ青年でも、友人と交際するに及びては、酒を飲まざるべからざるに至るのである。實に酒程誘惑の多きものはないのである。

然れども吾人に對する誘惑は啻に友人の側より來る許りではない。吾人の最も頼みとする處の家庭も、往々にして飲酒を勸むることがある。吾人が食事をなす時、父母は同一の食卓に於て、無遠慮にも酒を飲む。又來客を優遇する唯一の途は彼等に酒肴を供するにあると考へて居る。ために甚しきに至りては、兩親が往々其の子をして、來客の相手となりて、飲酒することを命ずるではないか。かゝる境遇に在りて、禁酒の習慣を養はんこと、決して容易のことではない。更に一歩を進めて、一般社會の酒に對する考は如何であるかと云つたならば、社會は殆ど全く酒の使用を是認し、且つ之を必要視して居る。酒はあらゆる場合即ち結婚誕生の如きは勿論、死亡の如きにも必ず使用されて居る。政府が人を賞するにも金銀盃を以てし、或は酒肴料と稱して金錢を與ふ。車夫や其他の勞働者に特別の報酬を與ふる時、これを酒代と稱して居る。之によりて見れば、社會は飲酒を以て恥ずべき行爲と見ざるのみか、

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

公然と之を是認し、且奬勵するに似て居る。飲酒の弊を除去するの難は此の點にあるのである。

飲酒は人々の故意に養ふ習慣で、決して天性の如きものではない。飲酒の慾は決して食慾の如きものではないから、幼少の頃より之に遠ざかりさへすれば、何の困難もないのである。吾人の初めて飲酒するに當り、必ず頭痛を感じ、嘔吐を催すのであらう。一人前の飲酒家になるには、幾度かかゝる苦痛を經過せねばならない。されば青年時代に禁酒の習慣を養はしむる事は必要なるのみならず、勞少く効多いものである。青年を飲酒の惡習より救ふのは、父母教師の責任にあるのは勿論であるが、責任は獨り家庭や教師にのみ歸するものではない。青年自らも充分努力せねばならぬ。それには酒を飲まぬ青年は斷じて酒席に近づかぬが宜いよしその爲めに友人を失ふことありとも、これを惡習に染むることに比すれば、その差は非常ではないか。又一ッは酒を飲む青年は斷じて他人を誘はない樣にせなければならないことである。多くの青年の中には、酒を飲む事を意氣なことと思ふて居るものも少くはない。何人も初めから之を甘いと思ふものはあるまい。されば彼等の飲酒は我等の食物を慕ふ如き、自然の要求ではなく、全く「シャレ」とか云ふ如きつまらぬことが動機となつて、此の惡習に染み始めたのであらう。愚も亦甚しきものではないか。殊に學資を父兄に仰げる青年が、酒のために毎月少からぬ金を消費するは、決して恕すべき事ではない。或は此の惡習を以つて紳士通有の資格であると思ふて居るのであらうが、決して紳士通有の美風ではない。若し歐米諸國に於ける理想的紳士を觀察したならば、彼等の多數が必ず飲酒は不潔なる習慣として、排して居るのを發見するであらう。眞正なる紳士は決して斯る惡習に陷ることを甘んずべきではない。一個人の幸福より考へても、事業の成功より見ても、禁酒が如何に重要なる原素であるかを斷言するに躊躇しないのである。

鐵血宰相と云はれしビスマークは云はずや。曰く獨逸の將來は青年の如何にありと。然り新國民として國家の中賢となるべき青年の飲酒するとせざるとは、之れ國家興亡に關する大問題である。記憶せよ滿天下の青年、酒は精神を錯亂する惡魔にして、身體を破壞する毒藥なることを。（完）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

○料理

みかんキャンデー

村瀬うめ子

一サトウ　二合
一クリームターター(或はス)　茶匙一ッ
一水　五勺

右の品を鍋に入れて火にかけ飴の如くねば〳〵するまで煮る

みかんの皮をむき、すぢを取り汁の出ぬやうに一ッ一ッにして置く

皿にバタ(何の油にてもよし)を一面にぬり置くべし前の飴の如くなりし鍋の中にみかんを(日本のはしにて取るべし)入れてすぐ出して皿の上にてさますときはみかんはガラスの中に入りし如くなるべし。

〰〰〰

パンケーク

サトウ　二合
水　五勺
レモン或は(クリームターター)小サジ一ッ

右の三者を鍋に入れて煮る。

玉子　四個
塩　小サジ一ッ
バタ　大サジ一ッ半
フクラシ粉　小サジ一ッ
メリケン粉　一合
水　二合半

等を混じて、フライパンにて燒く(燒く時はしやもじなりさじなりにてフライパンに入れる)出來上りしケークに前の汁をかけて食す、
これは朝飯の代りに食す、

〰〰〰

朝に夕に正義のために祈る諸姉の熱誠はいつしか天に達して左の如き喜びの音信を得るに至りました。

池田旅館主人　池田政代

矢島楫子殿

拜啓陳者

天恩の下貴家益々御清穆奉慶賀候、偖而拙者義六年以前より高橋牧師の懇篤なる御傳道により人生唯一の救を基督の教に發見し爾來家族を導き相供に將來を基督敎的生活と決し家族一同商議の上前業（貸座敷業）を全廢し正業に復し去廿一日水澤停車場前に一旅館を開業致候就而は該地御通過の際は必ず御休息御一泊の榮を賜り度奉希望候右御披露まで如此に御座候敬具

陸中國水澤町

停車場前（下市驛）

○遞信省官吏養成所に於ける演說（文責在記者）

矢島楫子

私の問題は立派な樣に聞えますが實際は左樣ては御座いません皆樣は只今喜多先生のよひ御話を御きゝになり御滿足なされましたてせうから私は何か珍らしい不文明な事を申上げて見度いと存じます。

一體あなた方と私とは時代が異てゐます私はこれより三百里はなれた九州肥後の國の而も其の田舍の阿蘇の山中に生れました、其時は七十八年前天保五年四月、私達の生れました時には不幸なとには女子の誕生は祝されませんてした、之に反して男子の生れた時には大さわぎをして歡迎されました、私は而も大勢の女子の一番裾に生れましたゝめ命名もされなかつたので御座います、たぶん母がまたの女子てはづかしく思つたからて御座いませう。

父は三十里隔つた處に移轉しました、四年其處に務て再た舊地に歸りました其時 私は七歲小學校にも上らず家に在つて母に業をならひました、其業とは即ち每日每夜母の側にあつて糸を紡ぐとて御座ります、學ぶ事としては手習又女大學などて御座いました、皆樣も御承知てしようが其れ女子は成長して他人の家に婚なれば男子よりも敎育を怠らぬ樣云々と、斯く女子に重きを置くせに大切にされないのはおかしい樣に思ひます、是等また三從の敎なども何もかも押しつけて何の自由なく暮してさへ居ればよかつたので御座います。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

私が丁度二十歳の時に日本に大騒動が起りました、其れは維新の騒動浦賀に外國の黒船が來たから追ひ拂ふの聲が盛で御座いました、然し私達九州の者と江戸の交通は三十日を經て後漸く達せられるので實に不便なものでした、帆船の都合のよい時には三十日足らずに着しますが飛脚の足ではどんなに早いとしても知れたもので御座います。

私の三十歳の時にはまだ〳〵ランプなど丶云ふ便利なものはありませんて、あんどんの前に座つて衣食を致しました、然してたゞ一つ城下にある學校は時習館それからもう一つ醫者の學校とて、實にやさしい二三冊の書を習つて卒業するといふ簡單なもので御座いました、或人は人を殺してあまり重い罰も受けず丁度只今支那の御話の樣に人の命をとる事を何とも思つていない樣な野蠻な時代、只今の太平な自由に學をならひ業を修め得る時代と比べてどんなに皆樣方は幸福あるかどこの點に於ても充分知る事が出來ると思ひます、然しなほ幸なる事は遞信に係はる鐵道電信より受くる便この多大の進歩をした局にあつて御勉強なさる皆樣は實に幸福であると存じます。

このごろ私は新聞を見たりまたきいたりして、支那政府の不明な哀れな狀態に比べて其の隣國の友人たる日本國の如何に幸福なるかを一層知りました、其國民即ち幸福なる國民の狀態如何と云ふことを考て見たいと存じます。

先日宮川すみ子樣の御はなしにある米國の大學教授が卒業演説にのぞみての初言として自分は神の子を自確すると云はれし言葉、次にダウインの進化論說即ち人間は猿の進化したものとのこと、二つのものを人間は有して居ると思ひます、只今喜多先生の御はなしの樣に人の首をまるで大根でも切る樣に平氣で切ると云ふ點に於て見ても、人間が其の下等動物の性を有している證據であろうと存じます、然し一方には神の子即ち靈精神なるものがあつてこの精神なるものは破るべき肉よりも力があります、精神と肉體とが調合して行くと安心な生活を送る事が出來ます、安心な生活を送ると

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

進步して來ます然し左樣になるのは、なかなかむづかしい事で餘程の努力が要ります、即ち精神修養に由つて肉欲からさけて幸福なる生涯に入ることとであります、この修養は耐へず必要でまた感覺せなければなりません、例へばこの火が今は入用なれどあたヽくなると同時に、無用になるのを感ずる樣に強い感覺で自分は神の子である、潔いものである社界に立つて潔く親切でなければならぬと自覺するところまで進まねばならぬと思ひます、けれ共吾々は復雜なる感覺の爲めに妨げられて、聖分を發揮することが出來ません、そこて私があなた方に請求する事は夜床に入る時先何才位の時が一番安心して休まれたか考へて頂きたいので、私は一友人から一冊の新約聖書(勿論木版)をもらつたまでは安心にならつなかたのです、勿論肉體上の苦痛がせめもなかつたのですが、何となく不安で御座いました今日は滿足したと思つた日とてはなかつたのです、この貰ひました聖書は始めはなかなか了解しませんてしたが自分も度々讀みまた人に問ふたりしてもまだ了解が出來ませんてしたが、この聖書を吳れた人が只讀んでもわからないから場所を定めて讀む樣にと敎へて吳ましたがまだわかりませんてした、其れからだんだん敎會に行き始めました、丁度芝の敎會にまゐりました時一人の敎師が祈をされた時の言葉に吾等の罪を許し給へとありましたが之をきいて私はぞつとしました、其後米國の宗敎家の立てた學校に飛び込まして敎師を致しました(形の樣なものなれど)日曜日には多くの生徒と共に敎會に行きましたが不思議なとには私に了解らぬ敎が若い人にはよくわかつたのです、自分は私達に罪があるから了解し難いのだと思ひました、私は求め求めました私は強慢て滿ちていると悟りました時愈々目が覺めて再聖書を見ましたら不思議にもわかつたのです、然して信者の群に入る事になりました其れには式がありません只聖書を敬神の思ひ眞實なる謙遜なる心を以て讀む時にはわかります、私達は肉體に妨げられて善は出來ませんけれ共自分は神の子、善だと自覺し自尊し自任して神に依つた心念を以

て安心した世渡りをする事が出來るならば、日本國民として此上なき幸福だろうと思ひます、私の八十歳あまりの生涯の内で最もたのしかつた、時は此荷物を卸ろした時です其れと共に高い清い神の前に私の思が向きましたから、老年の今神に近くなつてうれしく思います。

切に一同に御願ひ致すとは私の持ているこの安心を未だ持たぬ御方は御求め下さい、なほ委細は私よりも半分も年の若い宮川様の御はなしを御讀み下さい、諸君の幸福は年と共に增してたのしき生涯を送り得ると信じます、私はまへに高ぶつた罪人でしたから御勧も出來ませんが何卒雜誌を御讀み下さい、また聖書も御讀み下さい私は是以上の望もたのしみもないと思ひます、私は日本國民が支那の國民に比べて幸福と思ふ時斯く申上げます是て御免を蒙ります。

消息

一デヒズ嬢は去月十八日御歸京ありたり

一島田三郎君は去る五日御歸朝あらせらる

內外通信

恭賀新年

昨年七月京都大會に於て御相談申上候如く本年は日本婦人矯風會第廿回の紀念に相當致候につきては全國各支部協力もて本部事務所設立の實を擧げしめんがため感謝獻金致度候間御賛成の上應分の御寄附被成下度此段御依賴申上候

尚ほ御送金は神戸市中山手通六丁目九ノ一

松山高吉樣內松山常子姉宛にて願上候

神戸支部
明治四十五年一月　大阪支部
京都支部

各地基督教婦人矯風會支部御中

○大阪火災後の大運動

本月十九日午後三時より臨時常置員會を開き同地に於ける遊廓燒失後林大阪支部長の大運動を應援せんがため矢島會頭及守屋姉同夜六時半新橋發にて出立と議決す、(グリゴレー氏山室氏同行) 其後同地よりの報道によれば會集者二千五百餘名廓清會へ入會者百名もあり廓清會大阪支部の發開式を見るに至るべしと同地の盛況實に感謝に餘りあり

○本　部

△本部常置員會　一月八日午後三時より上二番町女子學院に於て常置委員會を開く、矢島、湯淺、小崎、富永、根本、ミスデビス、杉本、阿部、守屋、高原の諸姉出席會頭祈禱の後決議せし件左の如し

一大會の場所　青山學院を願ふ事につきてはミスデビスよりスペンサー姉に杉本姉より本多副會頭に依賴せらるゝ事

一大會費用約三百圓を準備するために活動を始むる事

一婦人新報會計の報告　戸川姉より高原からうに引渡されたる金額は四拾二圓四十錢也但し此内より十二月分印刷費を拂ふ事

一守屋姉提出の郵便集配人慰勞會に就きては尙研究すべき事もあり各區局長を訪問するの必用あるを以て委員附托とす

委員　矢島、小崎、根本、阿部、守屋、宮永、高原

一守屋姉提出の中學生懸賞演說會開會の件は一同贊成す

一小崎姉提出の婦人新報を會報としては如何かとの件に就ては時事問題記載の都合上研究の必要あるを以て主任高原から子に依托すること

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一小崎姉發議、デビス孃の御兩親は日本に事務所建築の必要を認られもし日本婦人矯風會にて賛成せらるゝならむには費用を寄附し度旨申越されたりとの件は委員に附托して熟議する事
委員は小崎、ミスデビス　ミス、スペンサー、根本、島田、矢島、ライシャー夫人の諸姉とす、
一神戸渡邊常子姉に對しミスデビスの應援として朝鮮に働かれし禮狀を常置員を代表して書記より贈呈する事
一阿部姉の發議によりデビス姉に今回御旅行中の働きに就き一同より改めて御禮を申上ぐ
次てデビス姉は旅行中の働を簡單に述べられ先づ京城には支那の新設を見るに至り其他鎭南浦、平壤、外二三ヶ所に禁酒會若しくは矯風會支部設立の用意をなし居らるゝ由
右終りて會頭のもてなしあり一同散會せしは六時なり

○麴町支部入會者　安村まさ子（矢島紹介）本郷區曙町十六番地安村女塾主、田中久子芝葺手町一五、橋本惠子仝上番地（中澤姉紹介）

○若松

明治四十四年拾月廿三四の兩日に一年間婦人の手になれる諸品の慈善賣店を聖公會にて開く美術品多く諸姉熱心に働かれたる結果成績良好なりき
同月三十日若松キリスト敎々役者諸師の催しにて右の慰勞會を開く尙今後の方針につきて種々談合あり茶菓を喫して散ず
拾一月某日集會を催し來る四十五年度よりは會課を設けて活動すべく決議せしも小數の出席者故充分なる相談整はず
其後例會を開き福岡日本キリスト敎會牧師荒木氏の話主意は「汝等は地の鹽なり」矯風會員も地の鹽となりて働かさるべからずと有益なる會にて出席者三十名皆大に感ずる處ありたり。入會者二名

坂本たか子姉、小川喜子姉

○愛隣女塾のクリスマス及新年祝會

婦人矯風會工女課の一部としてミス、バンフハインド及小崎夫人御監督の許に三浦夫人の主宰せらるゝ芝三田四國町愛隣女塾にては本月六日午後七時よりクリスマスを兼て新年祝會を催さる

主任者三浦てい子姉司會の許に讃美祈禱を以て開會し同姉開塾の主意及將來の希望を述べられ工女とは見受がたき迄品よき生徒等の唱歌祝文あり小崎夫人奬勵の辭につぎて守屋東子女史を紹介せられ、無邪氣なる少女の美談を演ぜられし守屋姉に續きて後藤滸樹先生の面白き有益なる御伽噺及び小石川有志諸姉の合唱あり閉會後餘興及茶菓の饗應生徒への贈物あり散會せしは九時なりき

因に同塾の財政は有志諸氏の御同情によりて維持し學業に從事し能はざる工女のため道德的敎育を根本として裁縫並に學課を敎授する組織にして目下生徒十名内外なれども前途有望なる由

御同情を寄せらるゝ方々は赤阪靈南坂敎會小崎夫人迄御申出被下度願上候

同塾生徒の祝文

惠の御神のゆたけき御守りのもとに、日を送り月を過し、今新らしい年を迎へて、今宵こゝに幸ある祝ひの宴につらなる事の出來ましたのを、深く御神に感謝し、又この喜ばしき集りを心から御祝申上ます。

此集りは、夜毎に集ふ學び舍の先生方はじめ、私共、遲ればせ乍ら救主イエス、キリストの御誕生日をお祝ひ申し、併せて新らしく迎へし年を祝ふために催されましたので御座います。

此學び舍は矯風會の皆樣の貴い御同情のもとに、毎日々々與へられましためい／＼の職務をいたし、暇のない身ながら、夜の時間を、此に集つて裁縫や學科にいそしみ、進む世におくれぬやう、又神樣と世人とに益すべき智識を磨くためにとて、特にキリストの敎の道を基として開いて下さいましたので、其名も聞くさへ優しき愛隣女塾とつけて下さいました。

そして先生方は親切に懇ろに私共を敎へ導き、又正し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

き婦人となるために福音を説き、イエス様のなされました愛の御業をお聽かせ下され、少しにてもキリスト様の御跡をふむ様にとて、足らざる私共を導いて下さいます、私共はこのやうに愛と信とによつて立つた此愛隣女塾に、僅かの時間てはありますが、夜毎々々に、學びの道の一歩づゝを進んで居ります。

新らしく迎へた年のはじめに、貴きキリスト様の御誕生日を祝します事は、またない喜びて御座います、何事も改まり、新らしくなつた心の中に、御愛深きキリスト様の御姿を宿しまつり、其御聲をきゝて、共に讃美し、共に感謝する事の出來るのは、何といふ幸福て御座いませうか、私共は今新年にキリスト様の模範とし、愛隣女塾の名に恥ぢぬ愛の行を積みて、此一年を送り、この女塾の擴張の爲にも力めなければならぬと存じます。

今此に臨みて、此塾を開いて下さいました婦風會の同情ある皆様と、親切に私共を教へ導いて下さいます優しい先生方に深く御禮を申上ます。

愛隣女塾生徒

明治四十五年一月六日　佐藤ふく

訃音

噫ボールス ヘレン嬢

風寒い一月の十日午後二時聖坂のフレンド教會に於て、在外國婦人婦風會平和課長ボールス夫人の愛嬢ヘレン女の葬送の式は擧行された、白き清らなる花束を以て飾らされた、嬢の柩は靜かに置かれた、幼なき嬢の學校友達として廿餘名の七八つ許の男女の生徒、前の列に座る、今までこらえきつた涙は同じ年頃の生徒さん達を見て堪へきれず流れる、夫人の御心中をお推察して與に御同情の念に堪えない。

何の順序も定められず會集の上に靈の交を得て此式を初め、まだ終らせんと、司會者の御言葉の下に會葬者の誰彼眞心より吊詞或は聖句を述べらる、嬢の幼なき腦裏に深く印せられし信仰の最後を物語られし姉妹の辭も哀れに聞くものも只むせぶのみてあつた。

三日に發病して七日に築地の聖ルカ病院に眠りし嬢

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

は年漸く八才苦しき手術を受けてなやみの中に父母に祈をもとめ、愛する讃美歌「主吾れを愛す」を歌ひ靜かに神の御許にゆかれしと、「天に」まします吾等の父よ願はくは――」の先を日本語にて知らぬ故病氣の全快した時に教へて頂戴と母君に約されし由、今既になし、されど永遠へに輝く主の御前に祈り歌ふて居らるゝ事と思ふ、幼なき會葬者はジーサス、ラブス、ミージスアイ、ノーと天にあるヘレン孃と和する如くに歌ふ、

式終りて柩は親しき人々に送られて青山に埋葬さる只一人のみの孃を捧げられしポールス一家の上に神の御惠みを祈る。

「エホバ與へエホバとり給ふ」

○婦人新報代價收證（四十四年十一月十二日）

一金十一圓廿二錢（四十四年後半部分）　芝支部
一金十圓五十錢（同）　赤坂支部
一金九圓廿四錢（同）　前橋支部
一金二圓八十錢（四十一―四十四迄）　田村すて子
一金一圓八十五錢（四十四年度）　石神八重子
一金一圓四十錢（四十三、四年度）　プゼル氏
一金一圓四十錢（同）　中島靜子
一金一圓四十錢（同）　ラピンソン氏
一金一圓四十錢（同）　ジョンストン氏
一金一圓四十錢（同）　沈分とつ子
一金一圓四十錢（同）　黑瀧なか子
一金七十錢（四十四年度）　土居順子
一金七十錢（同）　長島とも子
一金七十錢（同）　江原八重子
一金七十錢（同）　小室潜庵氏
一金七十錢（同）　山口庄之助氏
一金七十錢（同）　菅沼すみ子
一金七十錢（同）　助川あい子
一金七十錢（同）　吉田ちか子
一金一圓四十錢（四十三、四年度）　福田早子
一金一圓四十錢（同）　根本りせ子
一金七十錢（四十四年度）　白石しの子
一金一圓四十錢（四十三、四年度）　石田裕子
一金二圓（同）　門田愛子

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一金四圓八十八錢（四十四年七、八、分）神戸支部
一金五圓（内五十錢寄附）（四十四年度）十時菊子
一金壹圓四十錢（四十三四年度）金井さく子
一金二圓十錢（四十四年六―四十五年五迄）山梨青年部
一金二圓八十錢（四十一―四十四年度）井上れつ子
一金十圓廿六錢（四十四年十、十一、十二月分）横濱支部
一金二圓五十錢（四十二、三、四、五年六月迄）林友ゑ子
一金五圓（四十四年度）麻布支部
一金十圓五十錢（十一月分）大坂支部
一金十二圓（後半期）成北支部
一金十三圓六十五錢（四十四年前半期）相良支部
一金十四圓四錢（四十四年十―十二迄）静町支部
一金三十六圓（四十四年度）シャトル
一金六圓（四十四年度半期）警醒社廣告部
一金十二圓（同）ライオン廣告部
一金八十錢（二ケ年分ノ内）岩谷ヨシノ
一金七十錢（四十四年度）岡田ミス
一金拾圓五十錢（四十四年十二月分）大坂支部

四十四年中出版圖書目

著者	書名	定價	郵稅
村田勤編	慈愛の涙	壹圓八拾錢	郵十二錢
村岡典嗣著	本居宣長	壹圓五十錢	郵十二錢
井口丑二譯	歐洲救貧事業の大勢	六十錢	郵八錢
島貫兵太夫著	新苦學法	四十錢	郵四錢
小崎弘道著	基督教と我國體	六十錢	郵二錢
宮川經輝著	人生の慰安	壹圓	郵八錢
高橋五郎著	二十世紀聖書新釋	九拾錢	郵八錢
山室軍平著	公娼全廢論	拾錢	郵二錢
富永徳磨譯	基督教と國家及道德	九十五錢	郵八錢
山室軍平著	青年への警告	拾錢	郵二錢
住谷天來著	孔子及孔子教	四拾錢	郵二錢
島貫兵太夫著	力行會とは何ぞや	四十錢	郵四錢
田村直臣著	子供の權利	五十錢	郵六錢
加藤直士著	羅馬書註解	一圓廿五錢	郵十二錢
松村介石著	婦人の心得	上製卅五錢 並製三十錢	郵四錢
小崎弘道著	基督教の本質	壹圓	郵八錢
松井文彌著	信仰美談 丹波ヨブ	八錢	郵二錢
加藤直士著	小林富次郎傳	五拾錢	郵六錢
高木壬太郎著	基督教大辭典	拾五圓	郵廿八錢
四十五年日記	吾家之歴史	中形五拾錢 小形四拾錢	郵八錢
松井雲舟譯	小說聖戰	壹圓拾錢	郵十二錢
宮川經輝著	無聲の聲	拾五錢	郵四錢

發兌 東京京橋尾張町 振替東京五五三 **警醒社書店** 本郷春木町 **同支店**

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

東京市京橋區西紺屋町二十七番地　株式會社秀英舍印行